

## 高校生ワークショップ実施報告

「こども・わかものの声を届けるには？」  
こども・若者の意見反映について

- 【日 付】 7月11日（火）、7月12日（水）  
【場 所】 プラザきくる3階303会議室、プラザきくる2階多目的エリア  
【参加者】 高校生1年生～高校3年生 合計34人  
（常葉大学附属菊川高等学校、静岡県立小笠高等学校）

# こども・若者の声が届く（意見が反映される）〈観光・魅力発信・移住者〉 とどんな変化があるだろうか？

## 〈学校・教育〉

- ・学生の中で「遊びに行くならどこ？」の選択肢に菊川も入る
- ・他の市から菊川の学校に通う人が増える。
- ・学校に来たくなる!!
- ・入学希望者が増える
- ・実用的な教育が受けられる
- ・制服がかわいくなる
- ・子どもの意見が広がれば先生たちなども子どものことを理解しあえる
- ・学習場所（きくるなど）が増加
- ・学校で自由な発言できる。可能な限り変えていくことで有名になる
- ・通学しやすくなる
- ・学校と地域の関りが増える
- ・学校が変わっていく（校則も含めて）

- ・菊川に住む人、遊びに訪れる人が増える→盛える→人口、店が増える
- ・若者がたくさん来る、引っ越してくる/新しいことができる
- 会社増える→地元就職
- ・働ける場が増える
- ・今の流行を知れる
- ・人口増加、いったん若者に任せてみよう
- ・地元に戻って活躍、貢献したくなる
- ・住みたいと思える人が増える
- 住民の年齢層が変化
- ・観光にも力を入れるべき？
- ・人口流出が抑えられる
- ・菊川の人口の年齢層が変わる
- ・元々あった菊川の魅力を今よりのアピールできる→知名度アップ
- ・社会人になって戻りたいと思う
- ・メディアが取り上げてくれるようになり知名度が上がる

## 〈こども・若者意識変容・身につくこと〉

- ・物事に対する視野が広がる
- ・（実際に近い）責任
- ・子どものころから大人との交流をするので、コミュニケーションをとれるようになっていく
- ・発言することには責任が伴う
- ・社会と関わることで社会性が身につく
- ・こどもたちがより積極的に意見を言えるようになる
- ・いろいろな見方を容易に知れるようになる
- ・自分の良さを発見し、自分に自信がつき、積極的にまちに参画していく
- ・自分の好きなことを全面的に出せる、表せる
- ・今まで意見が出しづらくて言えなかったこども・若者も意見を出せるようになる
- ・若い人が興味を示してくれる
- ・大人のことを知って、大人に近づける
- ・まちづくりに参加したいという気持ちが高まる
- ・大人と若者の関わり接点が増えて、地域のとかわりも深まる
- ・大人になったときにまちやまちづくりに興味・関心ももてる

## 〈政治への参加・参画意識向上〉

- ・自分の国の政治や地域に関心のある若者が増える
- ・政治が変わる（若い国会議員が増える）
- ・SDGsに優しくなる
- ・子ども、若者の成長/主体的活動→大人への意識啓発につながる！
- ・社会問題に目を向けるようになる
- ・社会活動に参加←他の国のように社会への関心が湧いてくる（グラフにも影響）
- ・責任を持つ若者が増える
- ・ボランティア、支援運動→選挙に参加
- ・住みたいと思える人が増える→住民の年齢層が変化
- ・声が届く→子どもの時から経験が積める→大人になったときに社会に貢献する
- ・地域全体で支え、つくるので、地域力アップ→更にパワーアップして貢献できる政策を増やす
- ・「若者もやるじゃん！」信頼と権利の獲得
- ・まちを変えられることが分かる、知れる→今後選挙に参加したい気持ちにつながる

## 〈地域貢献への興味・関心〉

- ・ 活気が出て豊かになる
  - ・ いろいろな人と交流したい
  - ・ 地元に戻って活躍、貢献したくなる
  - ・ イベントに主体的に参加、自分たちで作る意識へ
  - ・ もっと地域に関心湧く
  - ・ 自分から動く
  - ・ 自分からアクションを起こしていく人が増える
  - ・ 「もっと町づくりに参加したい」という気持ちが高まる
- "・ 住みやすい町になる、町が活性化する→不満が減ってうれしい、雰囲気◎ 若者が活動しやすくなる ⇔ 良いループが生まれる（町が活性化する）"

## 〈大人の意識変容〉

- ・ こども・若者の意見を取り入れることが大人にも良い（メリットがある）
- ・ 大人がこどもの考え方を受け入れやすくなる
- ・ 若者のニーズ把握
- ・ 今の流行を知れる
- ・ 大人への啓発
- ・ こども・若者が喜ぶことで親もうれしい
- ・ こども・若者の意見をより大切にできるようになる
- ・ こどもが考えることが理解できる
- ・ 大人にはない発想を知ることができる
- ・ こどもと一緒に遊ぶ、関わる機会が増える

## 〈 まちについて 〉

- ・ よりよリモちができる（みんなが満足できる）
- ・ 若者からの視点で新たな発見があり、まちが良くなっていく
- ・ まちづくりが盛り上がりそう
- ・ 自分のまちのことを良く知れる
- ・ 若者が来たくなるようなまちになる
- ・ 若者が多くなり、にぎやかになる
- ・ 活気が出て豊かになる
- ・ こども・若者がより過ごしやすい空間ができる
- ・ 安心して過ごすことができる
- ・ こども～大人までが満足する
- ・ もっと過ごしやすくなる
- ・ みんなが納得できる
- ・ こども・若者が思う理想のまちになる
- ・ 古い習慣が改善される
- ・ 大人目線で出来ていたものがこども視点になっていく
- ・ 「若者・こどもの挑戦をしたい」という活気が出ることによるまちの活気向上になる
- ・ 今まで大人だけで解決していたものがこども・若者の意見も加わってよりよいものになる

## 〈 機会の創出・場の広がり 〉

- ・ こども・若者意見が広がることで、意見を聴いてくれる場が広がる。市町村、全国にも広がる
- ・ 若者やこどもが意見を言いやすい場になる  
→ 学校にも反映されていく
- ・ いろいろな立場の人が意見を言いやすくなる
- ・ こども・若者が活動しやすくなる
- ・ 今まで関わる機会がなかった人とも交流できる

# どんな仕組みや環境があればあなた（全てのこども若者）が意見を言いやすいか？

## 〈若者向けの場所〉

- ・ 有名人の起用
- ・ 支援
- ・ 娯楽施設
- ・ 匿名で
- ・ 新しい事柄を取り入れる
- ・ スポーツ
- ・ ミュージックフェス
- ・ ネット
- ・ 前例
- ・ 教育
- ・ 若者だけの場

## 〈思いついたらいつでもできる〉

- ・ 堅苦しくない
- ・ 前例がある
- ・ 温かい雰囲気（なんでも言ってOK!の姿勢）
- ・ 「あなたの意見が欲しい」ということが伝わる環境
- ・ 内容が具体的
- ・ 友達と一緒に参加できる
- ・ 短時間でできる
- ・ 匿名性を持たせる。

## 〈こどもと大人が対等な立場であること/ 子どもが主催のイベントにする〉

- ・ 子ども側のメリット
- ・ SNS
- ・ 慣れ親しんだコミュニティであること
- ・ 大人が子供を信じる。
- ・ 大人側の配慮
- ・ 前例があることで参加しやすい

## 〈意見を言う場所の緊張感、恐怖感をなくす！〉

- ・ アンケート
- ・ SNS
- ・ 意見の否定（怖い）をなくす
- ・ 意見が言えない人（その意見に対して自信がない）  
→自分が思っていることなどを全て紙に書いてそれを意見として出す。

## 〈アンケート、意見箱、インタビュー〉

- ・ 大人/子供の意見箱
- ・ アンケート（子供用のアンケートを作る
- ・ 高齢者にもアンケートする
- ・ 若者とお年寄りのどちらにも親しみやすいものにする
- ・ ボランティアが終わったらアンケート）
- ・ SNSなど若者が触れ合う機会が多いところに発信する。
- ・ 駅前にボード
- ・ （匿名で）目安箱。

## 〈身近な交流の場〉

- ・ 大人との関わりを増やす→場所の提供→大人でも堅苦しくない（思いつきの意見でも口に出していいと思えるような場所（無責任に言える）ハードル低い）
- ・ 交流スペース→来る人少ないだろうけど、より堅苦しさを除く、対話・意見交換の場。

## 〈若者、高齢者、外国人が集まれる場所〉

- ・ 若者やお年寄り、外国人（英語）みんなが集まれ、いろいろな意見を書いたり、言い合える場所を作る
- ・ 他の学校の環境や取り組みを知る
- ・ 他の市（県）や町のことを知る
- ・ けやき（けやきにアンケート箱、けやきで中高生がボランティア
- ・ けやきを子ども・高齢者が集まる場所にする
- ・ 相談できる施設→相談会

## 〈気持ち〉

- （こども・若者）
- ・ 大衆の前ではっきりとものを言える勇気
- ・ 積極的に意見を出す/活動に参加する。
- （大人）
- ・ 子ども・若者の考えを実現させようとする気持ち
- ・ 思いやりの気持ち
- ・ 相手の気持ちに寄り添う心

## 〈地域〉

- ・自由に使える広い場所（exホール、体育館）
  - ・地域の人で集まって、幅広い年齢の人（外国人とかも）で話し合う（意見交換・交流会）
  - ・地域でのイベント（人とのつながり）
- 話しやすい空間へ、未成年の主張。
- ・参加しやすいような雰囲気

## 〈気軽な意見書〉

- ・家庭意見書（家庭内で話し合うので、あまり意見の言えない人も話しやすい）
- ・忙しい時でも地域への不満や改善策をかいていける場所。

## 〈政治直接参加〉

- ・議会→意見を持った人同士で対話を持てるスペースの確保。
- ・若者の意見を投票ではなく、ダイレクトに伝えられる場所。

## 〈学校〉

- ・定期的に家族で団らん時に話し合う（話しやすい）→地域・学校にプリントで提出
- ・LHRなど授業でクラスで意見を出す場を作る/取り入れる
- ・全校集会でいくつかの班に分かれて他学校と交流・話す機会
- ・（子ども主催の）高校生ワークショップなどの話し合いの場→定期的開催

## 〈意見箱・SNS〉

- ・意見箱、目安箱、質問箱  
(学校だけでなく、市内のいろんなところにおく)
- ・まちについてのお願いを話せる場所  
(市役所の人に言いやすいように)
- ・ネットで定期的なアンケート  
(アンケートみたいに気軽に)
- ・SNSを使ったアンケート
- ・直接でなくて文などで意見を伝えられるようにする
- ・インターネットで投票

## 〈掲示板・情報発信〉

- ・大きな掲示板
- ・ボランティアの一覧表
- ・どんなイベントがあるのか分かりやすくする